

D Xヘデジタル身分証アプリ

マイナカードを活用



宮城県は、県民の皆さんにデジタルトランスフォーメーション(DX)がもたらす恩恵をより実感していただくため、マイナナンバーカードを活用した「デジタル身分証アプリ」による取り組みを進めています。

必要な情報 直接届ける

県はこれまで、東日本大震災の教訓を生かして、さまざまな防災施策に取り組み、避難所受付けや地域ポイント利用などの際に使用が必要であり、住民の皆さんに直接必要な情報をお届けする手段の確保や避難の迅速化などが課題でした。

東北電力女川原子力発電所(女川町、石巻市)で発生した地震が、発電所から30km圏外まで避難するなどの、特別な対応が必要であり、住民の皆さんに直接必要な情報をお届けする手段の確保や避難の迅速化などが課題でした。



さらなる普及へ 新サービス続々

県は、このデジタル身分証アプリをさらに普及させるため、アプリ内に「ミニアプリ」を追加し、災害時のみならず、日常的に皆さんに活用していただけるよう、さまざまなサービスを提供していきます。

避難時間の短縮を確認

県は昨年度から、女川原発の重大事故発生に備え、IT企業「ボケットサイン」(東京)と共に住民避難を支援するスマートフォンアプリの開発を進めてきた。

昨年10月の原子力防災訓練では、発電所から5km圏内の区域(PAC)と、それに準じる区域(準PAC)の一部住民が実験的にアプリを使用。スマートフォンに直接避難場所の情報が通知されるため、避難先を案内

する「避難所受付ステーション」を経由することなく、避難所に直行できた。

今年8月に行った実証試験では、発電所から5km圏内の区域(UPZ)からの避難者が立ち寄り放射性物質の付着状況を確認する場所へ、アプリ使用と不使用のグループ(各車両10台)の場内通過時間を測定。使用グループは計8分52秒、不使用は計14分49秒で4割ほど時間を短縮できた。

原子力防災訓練 住民が試用

地域経済活性化へ寄与

デジタル身分証アプリをダウンロードすると、買い物などに利用できるポイントがもらえる「地域ポイント等導入検討事業」が、10月1日に女川町でスタートした。

町民がアプリをダウンロードして搭載されたミニアプリから所定の手続きをすると、1ポイント1円相当のデジタル地域ポイント5000円分がアプリにチャージされる。スーパーや理髪店といった町内の52店舗で、

店頭設置のQRを読み込むことで使うことができる。

県の委託を受けて事業を進める女川町商工会の木村昇会長は「取り組みの意義について、命を守る(デジタル身分証)アプリを、地域経済を支えるアプリとして活用する」と話す。高齢化が加速的に進む女川町にとって、地域経済の継続は防災と同様に大きな課題の一つ。同商工会は「地域循環型経済」をテーマに掲げ、「地域の買い物は地

道路や河川の異常通報

道路陥没や河川護岸の損傷といった情報を、県民からミニアプリで受け付けるのが「インフラ異常簡所通報ミニアプリ」だ。これにより、担当部署による情報共有と適切な対応の迅速化が図れる。

ミニアプリの使い方は、衛星測位システム(GPS)をオン

にしたスマートフォンで、写真や異常の状況などを登録するだけ。GPSがオフの場合は、デジタル地図から指定することもできる。

インフラに異常がないかどうかの把握は、県や維持管理業者が定期的にパトロールしたり、年約3000件に上る一般からの情報を基にしていた。しかし、電話でのやりとりの場合、状況や場所を正確につかめないことがあるほか、担当職員が現地に出向いて確認するなど手間がかかっていた。

陸羽東線にぎわい創出

川渡温泉、鳴子御湯、鳴子温泉、中山平温泉...と聞いて「駅」と聞いてきた方は鉄道通だろう。いずれも大崎市のJR陸羽東線にある。俳聖松尾芭蕉にちなみ「奥の細道湯けむりライン」の愛称もある鉄路は開業110年を迎えた重要なアクセスポイント。沿線の人口減少や車社会化で利用者が減少し、活性化が課題になっている。

県は10月から、陸羽東線小牛田ー中山平温泉駅間の16駅と列

車内にQRを掲出し、デジタル身分証アプリに搭載のミニアプリでスタンプを集める抽選で地元特産品などが当たる「陸羽東線周遊スタンプラリー」を展開する。鳴子、東鳴子、鬼首、中山平、川渡の5温泉の総称である鳴子温泉郷は、環境省による新泉質分類で10ある泉質のうち7泉質が楽しめる国内有数の名湯。最近はおくからの温泉街にカフェやバーの開店が相次ぐなど、にぎわい回復の加速が期待される。

陸羽東線といえば、紅葉の鳴子峡をゆく気動車が秋の風物詩でもある。鳴子温泉郷観光協会が、観光関係者が集う会議の場でも、皆で力を合わせて頑張ろうという明るさを感じる。スタンプラリーをきっかけに陸羽東線各温泉を訪ね、湯巡りやそぞろ歩きなど、ゆったりとした時間を楽しんでほしいと話す。

県からのお知らせ

※各記事の詳しい内容は各お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

宮城県 県からのお知らせ 検索

10月22日(日)は宮城県議会議員一般選挙の投票日

投票日に仕事や旅行などで投票できない方は、期日前投票をしましょう。

また、滞在の市町村選挙管理委員会が「不在者投票」をする場合は、事前の申し込みが必要になりますので、希望される方は、お早めにお問い合わせください。

●各市区町村選挙管理委員会
●県選挙管理委員会 ☎022(211)2343

事業者向けみまサポセミナー「聴覚障害者の雇用を考える」

聴覚障害者を雇用している、または雇用しようと考えている事業者を対象に、聴覚障害者の特性や雇用する際に必要な配慮、より良いコミュニケーション方法などについてお話しします。

●日時/11月7日(火)午後1時半～3時半
●場所/宮城県聴覚障害者情報センターまたはオンライン(Zoom)
●申し込み/事業所名、氏名、連絡先、参加方法を下記へ
●宮城県聴覚障害者情報センター
☎022(393)5501 FAX022(393)5502
Eメールinfo@mimisuppo-miyagi.org

「薬と健康のつどい」の開催

●内容/薬剤師によるお薬なんでも相談、トククイブ、薬草・ハーブ茶の試飲や健康チェックなど
●日時/10月28日(土)午前10時半～午後4時半
●場所/エル・パーク仙台5階セミナーホール1・2
●申し込み/不要
●(一社)宮城県薬剤師会
☎022(391)1180
●業務課 ☎022(211)2653

ひきこもりの方々のオンライン居場所の開設

対面でのコミュニケーションや外出が難しい方々のために交流や悩みごとの相談ができる「オンライン居場所」を10月1日から開設しています。利用料は無料です。ご関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

●対象/宮城県内に住まう、義務教育終了後ひきこもり状態にある方
●実施日/毎週月曜日
申し込み方法など詳しくは、ホームページをご覧ください。
●精神保健推進室 ☎022(211)2543

みやぎ女性のための出張相談

DVや離婚、子育て、親子関係など人間関係で悩む女性のための個別相談を実施します。NPO法人ハーティ仙台の女性相談員が対応しますので、一人で悩まず、お気軽にご相談ください(匿名での相談可)。

●子ども・家庭支援課 ☎022(211)2633

仙台地域うまいっチャ! スタンプラリーの開催

エリア内の指定産直施設や飲食店、販売店などを訪問し、「地元自慢の味」を楽しみながら参加できるスタンプラリーを開催します。スタンプを集める方には抽選で豪華景品をプレゼントします。

ご家族やご友人と一緒に、お出掛けの際ぜひご参加ください。

●期間/10月7日(土)～令和6年1月8日(月)
●日時/11月11日(土)
●場所/仙台地域内14市町村の指定スポット
●仙台地方振興事務所 ☎022(275)9140

東北日帰りツアーの開催

御朱印が有名なお寺や神社、名産品の見学、砂金採り体験など、東北地域の魅力を詰め込んだ仙台駅発着の日帰りツアーを開催します。この機会にぜひ、東北の魅力に触れてみてください。

●日時/11月3日(金・祝)
●集合場所/仙台駅発着
●申し込み/「(一社)みやぎ大崎観光公社」のホームページから
●仙台地方振興事務所 ☎0229(91)0763

体験型婚活イベント参加者募集

真剣な出会いを求める20代～40代の独身男女を対象にした婚活イベントを開催します。大崎地域の魅力を満喫しながら男女の交流を深めます。

●定員/男女各15人(応募多数の場合は抽選)
●日時/11月11日(土)
●集合場所/仙台駅発着、男性は色麻町農業伝習館
●申し込み/10月22日(日)までに仙台リビング新聞社の専用申し込みページから
●仙台地方振興事務所 ☎0229(91)0763

令和5年度農林産物品評会(林産物部門)および山の幸販売会開催

品評会に出品された良質な生しいけや木炭の展示販売と、県産品の木製品などの販売会を開催します。

●日時/10月16日(月)～20日(金)
(品評会出品物販売は19日(木)のみ)
午前10時～午後2時
●場所/県庁1階県民ロビー
●林業振興課 ☎022(211)2914

林業技術総合センターの一般公開

県産の杉材を使用し、CLT(直交集成板)パネル工法と呼ばれる最新の木材建築で新築された本館の見学ツアーなどを開催します。

●内容/新本館(令和3年9月竣工)や実験施設、森林などの見学ツアー、研究員による研究成果のポスターセッション、みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修生による研修成果発表、センター業務の映像紹介、林業マンナキッズコーナーなど
●日時/10月14日(土)午前10時～午後3時
●場所/林業技術総合センター(大衛村)
●申し込み/不要
●林業技術総合センター ☎022(341)3262

みやぎ建設ふれあいまつりの開催

●内容/高所作業車の試乗体験やショベルカー・コンクリートポンプ車の展示、ドローン・ラジコン重機の操作体験、塗装や塗装の体験ほか
●日時/11月3日(金・祝)午前10時～午後3時半
●場所/県庁正面玄関前駐車場
●費用/申し込み/無料・不要
●事業管理課 ☎022(211)3116

都市計画変更に関する説明会・公聴会

●内容/仙台広域都市計画区域マスタープランなどについて
●日時/①説明会10月23日(月)～27日(金)②公聴会11月9日(木)いずれも午後7時～
●場所/①仙台市、塩釜市、名取市、沼津市、富谷市、多賀城市、利府町、大和町②宮城県庁
日時・会場など詳しくは、ホームページをご覧ください。
●都市計画課 ☎022(211) 3134

みやぎ教育の日推進大会

11月1日はみやぎ教育の日です。この日に合わせて「みやぎ教育の日推進大会」を開催します。

●内容/講演「教師ソーシャル・キャピタルから考えるみやぎの教育とこれから」(講師:本岡愛実氏(宮城教育大学教職大学院教授))
●定員/200人(先着順)
●日時/11月1日(水)午後1時半～4時
●場所/ホテル白萩2階第2の間
●費用/申し込み/無料・不要
●教育行政総務課 ☎022 (211)3614

宮城県公立学校教員採用説明会

令和6年度に実施する令和7年度教員採用候補者選考について、受験予定の方を対象に説明会を開催します。

教員の魅力についての講話や、令和7年度教員採用選考の特徴、選考のポイントなどについての説明を行います。

●日時/12月9日(土)午前10時～正午
●会場/県庁2階第2の間
●定員/200人
●申し込み/12月8日(金)までにホームページから電子申請
●教職課 ☎022 (211) 3637

全国地域安全運動

10月11日(水)から20日(金)まで「令和5年全国地域安全運動」を実施します。

この運動は、安全で安心して暮らせる地域社会実現のため、県民一丸となって行うもので、期間中は県内各地で地域安全のためのキャンペーンなどが行われます。

散歩や買い物などの日常生活や事業活動しながら防犯活動ができる「ながら見守り活動」の実施や、家族間で特殊詐欺について注意を呼び掛け合うなど、防犯について再確認しましょう。

防犯を意識することで防犯の輪が広がり、犯罪への抵抗力が高まります。力を合わせ、安全安心なまちづくりを進めたいと思います。

●警察本部生活安全企画課
☎022(221)7171(代表)

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は3R推進月間&食品ロス削減月間です

リデュース ごみを減らそう

マイバッグやマイボトルを活用する
簡易包装や詰め替え用の商品を使う など

リサイクル ごみを分別して資源に戻そう

市町村のルールに従って資源ごみを分別する など

リユース ものを大切に繰り返し使おう

着なくなった服をフリーマーケットで人に譲る など

10月30日は「みやぎ県民食べきの日」おいしく楽しく完食しよう!

県の1年間の食品ロス発生量は8.8万t。(※令和元年度推計値)。これは、全県民がコンビニのおにぎり1個を1年間捨て続けた量と同じです。食品ロスを減らすために、「買わず」「作らず」「期限切れ」に注意しましょう!

●買ひ物の前に冷蔵庫を確認し、食べきれないほどの食材は買わないようにしましょう
●贈答品などが余ってしまう場合には、フードバンクへの寄付やお分けを検討しましょう

みやぎの食べきりモデル店舗を募集しています

県は、食べ残しを減らす取り組みの飲食店や宿泊施設を「みやぎの食べきりモデル店舗」として認定し、支援する「みやぎの食べきりモデル店舗認定事業」を実施しています。

支援内容 認定条件

お店を県のホームページで紹介、食べきり啓発資料(コースターなど)を配布

ハーフサイズや小盛りメニューを設定、ポスターで食べきりを啓発 など

みやぎの食べきりモデル店舗・参加申し込みはこちら

循環型社会推進課 ☎022(211)2649 Eメール junkan@pref.miyagi.lg.jp